

平成 30 年度 第 1 回 蕨市立図書館協議会 会議録

開催日時 平成 30 年 8 月 18 日(土) 午前 10 時から 11 時 30 分まで

開催場所 蕨市立図書館 3 階 会議室

議題 (1) 会長及び会長代理の選出について
(2) 平成 29 年度事業報告について
(3) 図書館耐震補強工事について
(4) その他

公開非公開の別 公開 (傍聴人なし)

出席者氏名 <出席委員>

町田敏子委員、田中京子委員、阿部仁委員、蓮沼昌代委員、近江睦代委員、
岡本和子委員、園川泰子委員、堀井良枝委員、荻原由美子委員

<事務局：図書館職員>

小栗館長、菅谷管理係長、小河原主事

会議経過

管理係長から開会し、委嘱状交付、自己紹介、館長あいさつ、資料確認の後、議題に入る。

(1) 会長及び会長代理の選出について

会長及び会長代理の選出については事務局案が採択され、町田会長、蓮沼会長代理が承認をされる。
その後、町田会長よりあいさつ。

(2) 平成 29 年度事業報告について

管理係長が資料 2 を説明し、質疑応答に入る。

委員：昨年、月曜日祝日を開館したが、来館者数のデータはあるか。

事務局：昨年度、土日が祝日の場合と、平日が祝日の場合とでは来館者数が変わってくるが、平日が祝日になった時の平均が 643.6 人で、月曜日に来た人の平均は 685.8 人となり、40 人ほど他の曜日の祝日と比べると多かった。

委員：資料 2 の 4 ページ、市外利用者数で、蕨市・川口市・戸田市・さいたま市が入っているのはわかるが、なぜ草加市が入っているか？

事務局：県南 4 市の枠組みの広域利用に基づき草加市が含まれている。

委員：議題 2 の資料の平成 29 年度の主な取り組みについての下段に図書館協力支援員と学校司書との連携などを追加予定となっているが、これは一緒の意味合いになるため、司書教諭ということか。

事務局：司書教諭ということになる。

委員：そうすると学校の先生で図書担当になるため、その方と連携する意味合いか。

事務局：具体的などころまでは決まっていないが、連携の中には図書館協力支援員や、学校の先生がいればと考えている。

委員：学校司書ではなく、司書教諭の表現のほうがよい。

事務局：図書館協力支援員や学校司書と掲載されているが、学校図書館との連携というところで表現をさせていただきたい。

委員：選書の基準と除籍の基準はどのようになっているか。

事務局：選書の基準については内規がある。除籍については3年間利用がないものを中心に除籍をしているが、県内の図書館の中で他にない資料は除籍にせず保管している。理由としては、相互貸借という県内の図書館同士で貸し借りをするため、除籍にしていない。

委員：内規を見ることができるか。どういう基準で購入しているか。

事務局：他市のホームページを見ると公開しているところとそうではないところがある。図書館としては内規という形をとっている。

委員：利用者が資料のリクエストをしたら購入していただけるのか。

事務局：娯楽性が高いものについては内容を見てご遠慮いただくこともある。

委員：資料の基準については知っておきたい。

事務局：選書基準等については、後日議事録と一緒に送らせていただきたい。

委員：資料2の4ページ上部に実利用者の児童数が記載されており、前年度に比べて児童数が減っているが、29年度は南町を中心に不審者情報が相次いだことで出足が鈍ったと思われる。この先心配していることは、教育課程が変更になり、授業時間数が増える。そのため、現在よりも下校時刻がさらに遅くなり、高学年は連日16時に下校することになる。そうすると図書館に足を運ぶ機会が減ってしまう心配がある。

また、小学校の施設見学で現在3年生は4校となっている。前の教育課程では3年生となっていたが、受け入れていただく図書館は学年が変わる、時期が変わるのは可能か。

事務局：学年に応じて対応できる。

委員：学校図書館と市立図書館の連携を図る場合、窓口やルート、連携の仕方を構築していく必要がある。また、ブックリストの作成については市立図書館から学校教育課に連絡後、各学校に連絡がある。期間が非常に短かったため、図書館協力支援員にお願いして、リストを作成してもらったのが現状である。本を揃えてブックリストを配布していただいたが、配布の仕方については図書館職員が校長会で説明することや、学校教育課が図書館協力支援員と司書教諭を招集し、その場に図書館職員がいるといった一緒に情報共有する場を持たないと、職員が全員集まる場が週に1回しかないため、学校外から情報が来た時に、学校全体に連絡するのに非常に時間がかかる。学校図書館との連携といったときに、どこが窓口となり、人をどうやってつないでいくかというところを検討していただきたい。

事務局：ブックリストの選出した方と連携をとって窓口をしっかりと作りたい。より良いものを作り、活用していただきたい。

委員：さいたまの市立図書館はブックリストが非常に多く作成されている。読み聞かせ団体が使えるような読み聞かせブックリストや子ども読書の日に合わせてブックリストの作成等を行っており、これは図書館が作成している。学校の司書に依頼して一緒に作成していくよりも、図書館で研究して作っていった方がいいのではないかと。子どもには配っているとは思いますが、子どもが目にするところにはブックリストが置いていない。図書館や本が好きで来た人に対しても、

ブックリストの配布や、ブックリスト自体を活用できるような方法を良い形で配布することができればいいなと考えている。

事務局：小中学生と保育園児には全員に配っている。また、昨年、ブックリストの作成時に、司書教諭だけではなく、図書館協力支援員も忙しいと話を伺った。連絡を一斉に取るのは難しいが時間をかけて体制づくりを進めていくことができればと考えている。工夫して、次回の作成についてはできるだけ負担をかけずに、それなりに良いものができるように取り組んでいきたい。

委員：2階にある展示コーナーだが、こうした展示をしているとは知らなかった。おそらく多くの人は知らないのではないか。

事務局：広報の仕方については、毎月の広報誌のお知らせのところとホームページに今月の展示コーナーを掲載している。啓発月間や季節に合わせて展示テーマを決めている。

委員：2階の展示コーナーは暗い。手に取ってみたいが、ケースの中に入ってしまった。貴重書というわけでもなさそうなので、1階に今月のテーマとして手に取ってみることができるような形のほうがいいのではないか。

委員：2階の展示コーナーに立ち寄る来館者はほとんどいないと思われるが。

事務局：そうしたところは気になっている。

事務局：昨年まで、1階カウンターの入ってすぐのところはDVDだったが、メインの場所でもあることから、VHSを抜き、展示スペースにした。そうしたところ、立ち止まって見る人が多くなり、貸出の回転もよくなった。2階の展示については昔ながらの展示の仕方をしている。できれば、1階でやっているような展示を行いたいと考えている。

委員：数年前、三郷の図書館に行った時もディスプレイされている隣に関係する本があった。例えば、DV（ドメスティックバイオレンス）に関わる資料があれば、DVに関わる蔵書が隣にある。これを見ながら実際にこうした本がでていと把握することができる。図書館もなるべくそのような展示にしてもらえればと考えている。

事務局：本は表紙に力を入れていると思う、見て、選べるような形で整備していきたい。

委員：2階にあるディスプレイを撤去することはできるか。

事務局：美術書を展示している時があるので、全部撤去ということではなく、半分だけ撤去して、半分のところに、表紙が見えるような棚を設けることはできると考えている。いずれにしても予算が必要になるため検討課題としたい。

委員：広報の仕方は、次の展示テーマはこれというような看板を作るのはどうか。ホームページを見ることができなくても図書館に来て見ること等、今できるところからやっていくということを考えると、興味をもたせるようなことを見えるところに展示することは手っ取り早い方法だと思われる。

委員：広報は本当に難しく、広報誌に載せること等やれることが決まっているが、自分が探している情報は目につくが、そうではない情報は素通りしてしまう。そんなことがあったのと思うことはよくある。ディスプレイを変えてみることや、現在カウンター脇のところに図書が置かれているが、そうした工夫をしていくことがとても良いと思われる。来館者に対して次はこれをやるといった展示を知っていただくことは必要になるのではないか。

委員：図書館職員の構成はどうなっているか

事務局：正職員は9人となっており、パートは10人となっている。

委員：修理ボランティアをはじめとした図書関係のボランティアはどうしたらなることができるか。

事務局：修理ボランティアについては一昨年養成講座を行い、その時の卒業生が今の修理ボランティアに加わっている。

委員：現在、修理ボランティアは高齢化や家庭の事情により、10人くらいに減ってしまった。数年に1度図書館で養成講座を行い、続けてこられる方を対象にしているため、増えたり、減ったりしている状況となっている。

委員：図書のボランティアについても、どこかにまとめて分かるようにしておく必要があるのではないか。

委員：さいたま市や他の図書館では市民の会があり、会費が発生してしまうが、図書館での広報活動なども図書館と連携している。そうした団体の情報も検討してみてもどうか。

(3) 図書館耐震補強工事について

館長が資料3の主な内容を説明し、質疑応答に入る。

委員：現在の返却ポストのある場所が工事期間中臨時の出入口になるが、返却ポストはどこに置くことになるのか。

事務局：閉館時に返却ポストを戻すことになるので、場所は変更しない。開館中はカウンターまでお越しいただくようお願いしたい。

(4) その他

事務局で事務連絡があり、その後質疑応答に入る。

委員：児童書を検索をかけてもどこにあるかわからない。今回、耐震補強工事が行われるため、この機会に蔵書を探しやすくしてほしい。

事務局：工事期間中でも児童書コーナーの開館をしている。本の購入や除籍、北町分館で雑誌の排架等を業務があり、こういった形で対応できるか、改善できるかどうかは時間が掛かると思うが、今の在り方の見直しをとっていけるようにしたいと考えている。

委員：今回、平成29年度の事業報告が出ているが、平成30年度の予算や展示のテーマについて記載がないがどうなっているか。

事務局：29年度の第2回の協議会で今年度の予算の話をしており、新しく委員になった方については後日議事録と合わせて資料を送付する。

委員：この協議会で出た意見の進捗状況が見える形でお知らせいただきたい。いつまでに何を行い、その結果どうだったかを知らせてほしい。

事務局：短期のものと、長期のものがあるので、長期のものは即答できない。それを踏まえうえである程度まとめて議事録と一緒に送ればと考えている。

委員：議事録はなるべく早い段階で送っていただいて、その段階でわかることを知らせてほしい。

委員：図書館の講座をいつも楽しみにしている。このような講座の状況について図書館ホームページに掲載しているか。また、過去に行われた講座の内容について知りたいときは図書館職員に

話せば、記録したものを教えてもらえるのか。

事務局：イベントの状況については、図書館ホームページ上の図書館活動記に掲載している。これは月ごとに写真と一緒に載せている。また講座の詳細となると著作権の問題もあり難しい。

委員：障害者の対面朗読の利用が0になっているが、蔵は目が不自由な方が多く歩いており、そうした方は図書館を利用しているのかなと思う。利用が少ないと思うが、対面朗読室を使うときに事前に予約は必要か。

事務局：対面朗読をするボランティアがおり、調整が必要となることから事前に相談していただくことになる。常駐はしていないが、連絡があった時点でボランティアと調整を行っている。

委員：絵本を大きく投影する機材は設置しているか。

事務局：置いていない。

委員：2020年にオリンピックが開催され、世の中は大変盛り上がっているが、図書館にはそれらしい雰囲気は全くない。地元の図書館はオリンピックと外国の状況やオリンピック種目の説明等、興味を持ってもらえるような展示がある。スポーツを通して本を好きになることや、国際状況を知るというのも良いチャンスと思われるため、考えていただきたい。

委員：西口駅前の開発を検討中だと思うが、そこに図書館の機能は入る計画はあるか。

事務局：現在検討中となっており、結果が出た時点で報告する。

委員：図書館の目標は貸し出し数を増やす、登録者数を増やすということか。図書館でのサービスの指標は。

事務局：どの指標をとれば評価としてつながるかは難しい。仮に満足度などといった主観的なデータの場合には問い方やデータの収集の仕方によっては正しく反映されにくいのではないかと考えている。良い評価項目があれば追加していきたい。

委員：県内で蔵市は図書館所蔵資料の中で紙芝居の所蔵は非常に多い。児童書も多いが、こうしたことは一般の人は知らない。もっとPRをするべき。

委員：子育て支援にすごく充実していて、小さい市なのでもっとPRをして、蔵市立図書館は子育て支援のツールをたくさん用意していることやお母さんのための支援もやっているといったこともPRするべき。

委員：毎週土曜日・日曜日に読み聞かせ等をはじめとする図書館ボランティアの方は非常に長い期間活動されている。そうしたことに敏感なお母さんは赤ちゃんのうちから連れてきている。そうしたことは広報にはいつも掲載されているが、興味があるかないかで反映されるのではないかと考えている。

委員：子育て支援が充実しているとPRをすれば、市外からもっと若い人が来てくれると思われる。

委員：大型紙芝居や大型絵本も学校ボランティアで借りることはできるか。

事務局：個人で利用されている方には貸せないが、学校の団体に活動されている方は貸し出すことができる。

会長代理から閉会あいさつ。